

平成29年度 群馬県高等学校新人陸上競技大会
兼 平成29年度 第21回 関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会県予選会

1. 主催 群馬県高等学校体育連盟 群馬県教育委員会 (一財)群馬陸上競技協会
2. 後援 前橋市教育委員会
3. 主管 群馬県高等学校体育連盟陸上競技専門部
4. 日時 平成29年 9月23日(土) 午前9時00分 競技開始
9月24日(日) 午前9時00分 競技開始
5. 場所 正田醤油スタジアム群馬 (群馬県立敷島公園陸上競技場)
6. 種目

	男 子				女 子			
一 日 目	100m	400m	1500m	110mH	100m	400m	1500m	100mH
	3000mS C	5000mW	4×100mR		5000mW	4×100mR		
	走高跳	棒高跳	走幅跳		走幅跳	棒高跳		
	砲丸投	やり投			砲丸投	やり投		
二 日 目	200m	800m	5000m	400mH	200m	800m	3000m	400mH
	4×400mR	三段跳			4×400mR	走高跳	三段跳	
	円盤投	ハンマー投			円盤投	ハンマー投		

- * 記録会の部として男子5000m(2回)・女子3000m(2回)を設ける。
- * 記録会の部は3年生の出場も認める。
- * 国体選手(3年生・フィールド種目)のみオープン参加を認める。

7. 参加資格
- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
 - (2) 選手は、群馬県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により関東選抜大会参加の資格を得たものに限る。
 - (3) 年齢は平成11年(1999年)4月2日以降に生まれたもの。ただし同一学年での出場は一回限りとする。(全日制1.2年生定時制1.2.3年生に限る)
 - (4) リレー編成においての全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - (5) 転校・転学後6ヵ月未満の者は参加を認めない。ただし、一家転住などやむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りでない。
 - (6) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
 - (7) (一財)群馬陸上競技協会を経て公益財団法人日本陸上競技連盟に登録された競技者であること。
 - (8) 参加資格の特例
 - ア. 上記(1)(2)に定める生徒以外で、(3)~(7)の大会参加資格を満たしかつ、県高体連が推薦する生徒を別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ. 上記(3)アのただし書については、学年区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技2回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

1. 学校教育法72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し県高体連の大会に参加を認められた生徒であること。
2. 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア. 全国高体連の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ. 参加を希望する特別支援学校、高等専門校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。
 - ウ. 各学校にあっては、県高体連の予選会から出場を認められ、関東選抜大会への出場条件が満たされていること。

エ. 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べ著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

ア. 本大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

8. 引率・監督 (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。(ただし、公立学校にあっては教員とする。)

(2) 監督は、校長が認める職員とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

9. 参加制限 (1) 同一人の参加種目数は、リレーを除く2種目以内とする。

(2) リレーは、1校1チームとし、6名以内とする。

(3) 外国人留学生については1校男子4名・女子3名以内とし、1種目1校1名以内とする。(この種目には、リレーも含む。)

10. 競技方法 (1) 第21回関東高等学校新人選抜陸上競技選手権大会の予選を兼ねる。

(2) 本大会におけるトラック種目は3位までの入賞者(3人・3チーム)フィールド種目は3位までの入賞者(3人)は、上記大会の出場権を得る。ただし、国体選手については14の国体選手の特例措置により出場権を得ることができる。その場合の該当種目は2位(2人)までの入賞者が出場権を得る。

11. 表彰 各種目の1～3位には賞状を、4～6位には専門部賞状を授与する。

12. 申込方法 (1) 申込一覧表(A)・電子データを作成のうえ**9月11日(月)17:00**必着で申し込むこと。種別コードは新人大会**00**、記録会**10**、オープン**20**とする。

(2) 申し込み記録は今年1/1から学校対抗陸上大会までの記録とする。

(3) 追加登録は、**9月6日(水)17:00**までとする。

13. 付則 (1) 駅伝等の関係で関東大会に出場を希望しない者は記録会の部に出場のこと。

(2) 10.(2)の関東大会出場権獲得者で止むを得ず出場不可能になった時は必ず委員長に速やかに申し出をすること。

(3) 上記(2)で欠場者が出た場合は、申込み〆切前であれば4位以下に順次繰上げ出場権を与える。

(4) トラック種目は、申込み人数によりタイムレースとすることもある。

(5) 競歩において周回を残し制限時間を超えた者については競技をうち切るものとする。
男子-30'00" 女子-32'00"

(6) 走高跳は男子1m65から、女子1m30からとする。棒高跳は男子3m30から、女子2m20からとする。

14. 国体選手の特例措置

(1) 国体選手は、国体に出場する種目のみ出場権を得る事ができる。(本大会出場エントリーは行うが、大会出場した場合はその限りでない。)

(2) 同種目に複数の国体選手がいる場合は、学校対抗陸上大会までの今シーズンにおける記録上位者が出場権を得る。

(3) (1),(2)とも同種目の今シーズンのランキング3位までに限る。